Press Release　2024.04.23

髙田賢三　夢をかける

①初のブティック JUNGLE JAP の店内装飾　1970 年 撮影：岩田弘行

②1971-1972 秋冬
文化出版局 ©High Fashion
1971 年 10 月号 撮影：大西公平

③1971-1972 秋冬
文化出版局 ©High Fashion
1971 年 10 月号 撮影：大西公平

④1971-1972 秋冬
文化出版局 ©装苑
1971 年 9 月号 撮影：増渕達夫

髙田賢三（1939-2020）は、日本人のファッションデザイナーとしていち早くパリに進出し、斬新なアイデアで常識を打ち破るスタイルを次々と生み出しました。単身で渡仏後、1970 年にパリで自らのブランドを立ち上げた髙田は、木綿の新しい可能性を打ち出したことで「木綿の詩人」と称され、早くから注目を集めます。その後も、身体を衣服から解放させることを意識し、直線裁ちの着物袖やダーツをなくしたゆとりある服を生み出したり、独特の色使いや柄の組み合わせを用い「色彩の魔術師」と称されるなど、日本人としての感性を駆使した作品を数多く発表しました。それらは、国境や文化、性別を自由に超え、これまでの西欧中心の伝統文化にとらわれない新しい衣服を示唆することとなり、今もなお世界中で愛されています。

2020 年に惜しまれつつ逝去した髙田賢三の没後初の大規模個展となる本展では、髙田のファッションの変遷を衣装展示でたどるとともに、幼少期から描いていた絵画やアイデアの源泉となった資料、衣装のデザイン画などを紹介し、多角的な視点で人物像を浮かび上がらせ、日本人デザイナーのパイオニアとして世界で活躍した髙田賢三の生涯にわたる創作活動を回顧します。

本展の見どころ

①タイムラインでたどる高田賢三の人生

姫路市出身の高田賢三は 1958 年に文化服装学院に入学。戦後の洋裁学校ブームのなか、小池千枝氏に師事しました。1960 年には若手デザイナーの登竜門である「装苑賞」（第８回）を受賞し、ファッションデザイナーとして第一歩を踏み出します。渡仏後、1970 年に自らのブランドを立ち上げてから、1999 年に KENZO ブランドを去るまでその人気は衰えることなく第一線を走り続けました。ブランドを離れた後、2000 年代に入ってからも、2004 年のアテネオリンピック日本選手団公式服装のデザインや、2019 年には演出家宮本亜門氏による『蝶々夫人』 の衣装を手掛けるなど、クリエーターとしての活動は続きました。
幼少期、東京の文化服装学院で過ごした学生時代、パリに渡ってからの活躍、そして晩年の活動まで幅広く紹介し、高田の人柄を語るトピックを織り交ぜながら、彼の魅力あふれる人生を紹介します。

②国内外のコレクションから厳選したオールド・ケンゾー

前半では、装苑賞を受賞した記念すべき作品をはじめに、「日本のきれ」を使った初期の作品、「ニット」「ツイード」「バルーン」といった素材や技法、「アンチクチュール」「ペザント・ルック」「ミリタリー・ルック」など、1970 年代に高田が発表したテーマに着目して紹介します。
後半では、「日本」「中国」「ルーマニア」「ロシア」「アフリカ」など、高田賢三の代名詞ともいわれる世界各地の民族衣装に着想を得た 1970〜80 年代のフォークロア作品を一堂に展示します。すでに多様性、包摂性を持ち合わせていた高田賢三の世界を堪能できる空間となるでしょう。
さらに、集大成となった KENZO ブランドでの最後のショー「30ans（トランタン）」（1990 年）を、映像フィルムをデジタル化し、ダイジェストで紹介します。

③約 20 年間集めたリボンで作られたウェディングドレス

1982 年秋冬のショーに登場したマリエ（ウェディングドレス）は、高田が約 20 年間にわたって集めたリボンを使って制作した大作です。花の刺繍が施された色とりどりの美しいリボンが使われています。このドレスは 1999 年に行われたショー「30ans（トランタン）」で、日本を代表するモデル、山口小夜子が着用しました。本展ではこのドレスとともに、制作の様子も写真資料で紹介します。

⑤1972 春夏
文化出版局 ©装苑 1972 年 3 月号 撮影：岩田弘行

⑥1971-1972 秋冬
文化出版局 ©装苑 1972 年 1 月号 撮影：岩田弘行

⑦1982-1983 秋冬 ©RICHARD HAUGHTON

高田賢三 略歴

⑧高田賢三 2016 年撮影 毎日新聞社

1939 年、兵庫県姫路市生まれ。文化服装学院に入学し、1960 年に若手デザイナーの登竜門「装苑賞」（第 8 回）を受賞。渡仏して 5 年後の 1970 年、パリに自らのブランドを立ち上げる。その自由で華やかなデザインで瞬く間に人気が広がり、世界を代表するトップデザイナーとして活躍した。1999 年に「KENZO」ブランドから退いた後も、企業とのコラボレーションやオペラ衣装の制作、新たなブランドの立ち上げなど、精力的に活動した。
2020 年、81 歳で逝去。

1984 年 フランス芸術文化勲章（シュヴァリエ位）
1985 年 第 3 回毎日ファッション大賞
1998 年 国家功労賞芸術文化勲章（コマンドゥール位）
1999 年 紫綬褒章
2016 年 レジオンドヌール勲章（シュヴァリエ位）ほか受賞多数

開催概要

展覧会名　髙田賢三　夢をかける
会期　2024 年 7 月 6 日[土]― 9 月 16 日[月・祝]　＊62 日間
＊プレスプレビュー　7 月 5 日[金]
会場　東京オペラシティ アートギャラリー
開館時間　11:00 - 19:00（入場は 18:30 まで)
休館日　月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、8 月 4 日[日・全館休館日]
主催　公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、毎日新聞社、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
特別協賛　NTT 都市開発リート投資法人
協賛　セイビホールディングス、DNP 大日本印刷、大和ハウス工業、
後援　在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ、TBS グロウディア
特別協力　文化学園ファッションリソースセンター、KENZO PARIS
協力　日本航空
入場料　一般 1600 [1400]円／大・高生 1000 [800]円／中学生以下無料
前売券　一般 1400 円／大・高生 800 円
前売券販売期間　5 月 1 日[水]―7 月 5 日[金]
オンラインにて販売　https://www.e-tix.jp/takadakenzo/

お問い合わせ　050-5541-8600（ハローダイヤル）

*同時開催「収蔵品展 080 となりの不可思議」「project N 95 田口薫」の入場料を含みます。
* [　] 内は各種割引料金。
*障害者手帳をお持ちの方および付添 1 名は無料。
*割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

■本展覧会に関するお問い合わせ
東京オペラシティ アートギャラリー　【展覧会担当】福島直　【広報】市川靖子、吉田明子
Tel：03-5353-0756 / Fax：03-5353-0776 / Email：ag-press@toccf.com